



杵岐高便り

第202号

発行責任者
濱野 正義



携帯
サイトへ

長崎県立杵岐高等学校
[TEL] 0920-47-0081

長崎県杵岐市郷ノ浦町片原触8
[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

Thoughts at the end of summer ～夏の終わりに思うこと～

校長 濱野 正義



One for me.

最近毎日、体育祭・文化祭の準備で、本校の「グラデュエーション・ポリシー」の中にある「他者への理解と協調性」を育てている時期だと思います。そこで今回の1つ目の話。

種は作物の種類によっていろいろな蒔き方があり、大きく3タイプに分けられます。ばら蒔き、すじ蒔き、点蒔きです。ここでは、点蒔きについてのお話をします。30～50cm間隔で、1箇所につき3粒ずつ蒔くよう、市販されている種の袋に書いてあります。なぜ3粒ずつ蒔くのでしょうか？もちろん専門家たちに聞けば、「種はすべて同じように発芽して生育するわけではないからだ」「発芽した中でしっかりしたものだけを残して間引く方がりっぱなものに成長するからだ」と答えるでしょう。

「三粒に種」ということわざがあります。

一粒は空を飛ぶ鳥のために

一粒は地中の虫のために

残りの一粒は人間のために



『共生』を戒め伝えることわざです。鳥や虫が生きられないような環境の中では、健康で安全な作物を作ることはいけません。また、他の人の利益を無視して、自分だけが利益を得ようとする自己中心的な考えに対する戒めのことわざでもあります。“All for me.”ではなく、“One for me.”の考え方なのです。作物を食べ荒らして人間に害を及ぼす鳥のために種を蒔く必要などないのではと反論する人もいます。でも、人生いつ誰にお世話になるかわかりません。誰かのために何かよい行いをしていると、めぐりめぐって自分に返ってくると思います。「情けは人のためならず」です。

Deep Breath

この夏、必死で勉強しているのに、努力しているのに、先日の杵岐高テストや対外模試で思うように点数が取れなかった人もいます。そこで、2つ目の話。

人間は目標を定め、それに向かって、一生懸命努力できる生き物です。しかし、結果は自分の思うようにいかないことのほうが多いです。杵岐高の先生方も、君たちの親も、そして私もそうです。学生時代に何度も落ち込み、長い期間ヨクヨクしていたこともあります。周囲に上手いこといえないことの不満をぶつけ、ため息をついて、「忙しい」「疲れた」などの言葉を何度も口にしてきました。

『忙しい』という文字は、「心」が「亡びる」と書きます。『疲れる』という文字は、「皮膚」が「痛む」と書きます。だから、「忙しい」とか「疲れた」などは、あまり口に出さないほうがいいと思うのです。周囲の人にも影響を与えるようなマイナスな言葉、聞いた人が嫌な気分になる言葉だと思うのです。

そのような言葉が出そうときは、杵岐の美しい海や青空をぼーっと眺めてみてください。そして、「やるだけのことはやったのだから、今の自分にとっては、これがベストな結果だったのだ」と思うようにしましょう。

人間の価値は、最終的な結果ではなく、どれほど努力したのかにあると、私は思っています。当たり前のことですが、大切なのは、『精一杯努力すること』と、結果を受け止める『心のコントロール』だと思います。

勉強や部活動で思うようにいかない時は、まずは空を見上げて、深呼吸！ Deep Breath!

(P.S.)

とある会誌の原稿を作成するために、今年度の高総体結果を調べてみると、サッカー部の初戦突破は8年ぶり。男子バスケット部のベスト16は25年ぶりの快挙でした。野球部の3年連続ベスト8も凄いことですが、みんなよく頑張っていますね。校長として誇らしいです。



第 3 学 年 よ り

2学期開始です！8月初旬に5日間の校内学習合宿を実施しました。取組は概ね良好で多くの生徒が集中していましたが、思考力を鍛える学習内容がやや不足していた模様です。もっと実践的であるよう、今後の学習内容の精選を助言しました。また、5組の中には独自の研修プログラムに参加した生徒もおり、新たな学びが得られたようです。進路実現へ向けてそれぞれが努力を重ねる夏になったことと思います。加えて、PTAより激励のペンをいただきました。

「未来に向かって羽ばたく」という意味を込めた学年のロゴマークが入っています。大切に使用し、志望達成を目指します。

体育祭を間近に控えて、ブロック別の壱岐高フェスティバルの練習が始まりました。どのブロックも趣向を凝らした構成となっており、練習にも熱が入っています。3年ぶりに全学年での演技となり、3年生のリーダーシップに期待しています。

保護者の皆様、進路実現へ向けて、様々な手続き等がいよいよ始まりました。体調管理に一層留意しながら、引き続き変わらぬご支援お願いいたします。日頃のご協力に感謝申し上げます。



3学年キャラクター るーりん&れいろー
川崎瑠衣さん考案

第 2 学 年 よ り

2学期が始まりました。夏季休業中も運動部・文化部ともに部活動で多くの良いニュースを聞くことができました。2年生主体のチームとなり、早速この夏から結果を出しています。開始式の日には多くの表彰状の受納と活動報告が聞け、充実した夏季休業を過ごしたのだろう

と想像しています。生徒個々の活動としては、探究活動で地域の方と協働で探究し、その内容を発表したり、総合的な探究の時間の延長で専門家と意見交換をしたりするグループもありました。進路学習ではオープンキャンパスに参加した生徒も多くいます。目標が明確になり、2学期の学習もより充実することが期待されます。

保護者の皆さま、2学期は体育祭・文化祭の学校行事や修学旅行と学年全体で活動する時間が多くなります。学年全体の成長をお見せする舞台と考え、事前準備をしっかりと行い、納得のいくものを作り上げてまいります。

第 1 学 年 よ り

高校最初の夏をそれぞれどのように過ごしたでしょうか。大きな事故や事件がなく、無事に2学期を迎えることができたこと、嬉しく思っております。2学期は体育祭・文化祭と大きな行事が続きます。中学校との大きな違いは、行事は「自分たちでつくる」ということです。体育祭では、種目決めから集団演技の内容まで、文化祭では、全体は生徒会が中心となり、クラス発表では、一人ひとりが自らの役割を担って完成させます。77回生もそれぞれがOne Stepを踏み出し、主体性を育てていきます。1学期終業式の学年集会においては、生徒会執行委員が寸劇を行い、「ルールを守ることの大切さ」を訴えてくれました。また、2学期開始式の学年集会においては、この夏壱岐みらい創りサイト主催のサマープログラムに参加した3チームが3日間の成果を発表してくれました。このように今学期も引き続き、生徒が活躍する場面を多く作り出したいと考えています。8月も終わりを迎えています。まだまだ暑い日が続いています。ご家庭でもお子さまの体調を気にかけていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。



初めての文化祭に向けて、鋭意準備中！

壱岐高Topics!

9月行事予定

①1年 ②2年 ③3年
8月26日現在 ★学校開放



8月9日 平和学習

今年度の平和学習は、被爆体験伝承者・坂本薫さんをお招きして講演をしていただきました。坂本さんは、長崎生まれ長崎育ち、社会人2年目の23歳。高校時代に被爆者・丸田和男さんの講話を聞き、長崎大学1年次から被爆体験を語り継ぐ「交流証言」の活動を始められました。そして現在も、勤務の傍らボランティア休暇を利用して、原爆資料館や県内外の学校で活動を続けられています。

生徒たちと年齢の近い坂本さんが、原爆の被害の大きさを身近なものに例えながら心を込めて伝えてくださったことで、生徒たちはより深く共感できたようです。また、日常生活を大切にしながら「できる時にできることを」というボランティア活動への取り組み方についても、大いに参考になったようです。



《生徒の感想より》

私は「交流証言者」という存在を初めて知り、私たちと年の近い坂本さんが原爆について話すことに衝撃を受けました。また、丸田さんが受けた被害は、身体的なものだけでなく精神的なものも非常に大きく、原爆の恐ろしさを改めて感じました。平和活動は壮大なことで、したいと思っても何をすればよいか分からなかったけれど、例えば、他県の友達に原爆の恐ろしさを広めるというようなことでもよいと知り、私にもできることからやっていきたいと思いました。

1	木	【代休9/3】	
2	金	体育祭設営	
3	土	体育祭	
4	日	公務員国家一般③ 就職出願開始③	
5	月	体育祭予備日 文化祭準備①②(5・6・7校時)	
6	火	情報教育(4校時) 文化祭準備①②(5・6・7校時)	
7	水	文化祭設営 文化祭準備(終日)①②、授業③	
8	木	文化祭(午後) 文化祭準備①②、授業③(午前)	
9	金	文化祭	
10	土	全員自学会③	
11	日		通
12	月		
13	火		
14	水		
15	木	LHR(後期自治委員選出)	SC
16	金	考查時間割発表 金7:木4の授業①②	SSW
17	土	進研マーク模試③ 自学会③ 進学ゼミナール① 高看模試③	
18	日	進研マーク模試③ 全員自学会③(PM)	
19	月	【敬老の日】	
20	火	考查前部活動休止(~9/28)	
21	水		
22	木	3,4校時:LHR(進路講演会①②)	SC
23	金	【秋分の日】 学校開放★	★
24	土	全員自学会③	
25	日	中国語ｽﾏｰｺﾝ(立命館)	通
26	月	中間考查②③ 受験用写真撮影③(冬服)	
27	火	中間考查①②③	
28	水	中間考查①②③	
29	木	中間考查①②③	
30	金	考查ビュ-日・後期自治委員任命式 租税教室③ 5,6校時:DV防止教育①②③(@体育館)	SSW

各分掌から

生徒支援部より

～スマートフォンの使用について～

生徒の皆さんの中には、「本当は学習に集中したいけれど、返事を求められる」、「グループ内での通知の場合も、返事をしないと仲間外れになりそうで怖い」という人もいるのではないのでしょうか。あなたが送ろうとしたまさにその時が、相手にとっては大事な時間かもしれません。何気なく送ったその一言が、思いがけず相手を傷つけているかもしれません。軽い気持ちで載せた写真が、全世界に広がり、大きな問題に発展するかもしれません。夏休みが明けた今だからこそ、もう一度スマートフォンの使用やSNSについて親子で考えていただければと思います。

また、世の中には、SNSより大切なことがあります。人と視線を合わせて話すこと、本を読んで想像力を膨らませることや教養を深めること、体を動かして汗を流すことなど、もっと素晴らしいものがたくさんあります。今だからできることを考えてみてください。

キャリア支援部より

1、2年生は7月27日(水)と28日(木)、「スタディキャンプ」を実施しました。2日間720分を通して自学を行うことで、これまでの自身の学習に臨む姿勢を見直し、今後の授業、家庭学習へ繋げるきっかけとなったようです。生徒からは「皆が居るから集中できた。」「計画的に学習できた。」との声が聞かれました。

3年生は8月1日(月)～6日(金)校内学習合宿を実施しました。「学習習慣の定着と苦手分野の克服」という生徒代表の力強い宣言でスタートし、1日あたり505分の学習に励みました。自学だけでなく、難関講座や基礎講座も同時に受講しながら、自分としっかりと向き合いました。「周りの仲間が頑張っていたので、より集中することができた。」「やらなければならないことが明確になった。合宿が終わっても今回身につけた集中力や学習習慣をこれからの学習に生かしていきたい。」と合宿を終えた生徒が述べてくれました。

東アジア歴史・中国語 コース

東アジアコース・国内中国語等研修

今年度もコロナ感染症により中止となった上海中国語研修に代えて、7月27日(水)～8月5日(金)の10日間、国内中国語等研修を実施しました。中国語を専門教育している大学や官公庁、中国に進出している企業等を訪問し、中国語を使ってどのような将来を切り開くかについて深く考えることができました。また、中国人ガイドの方に同行していただき、中国語による観光案内をしていただいたり、日中での観光ニーズの違いについて教えていただいたりするなど、貴重な体験をすることができました。



↑中国人ガイドの方による観光案内中国語をたくさん聞き取ることができました。



↑孔子廟にて9月から始まる日中高校生交流に向けて取材しました。



↑福岡銀行本店にて海外ビジネス展開の現況について伺いました。

←長崎県立大学にて中国人教授の講義を受けて、積極的に質問しました。



↑県庁国際課にて長崎県と中国の交流の現況やポストコロナの展望について伺いました。



↑中国駐長崎総領事館にて総領事と対談しました。



↑APU(立命館アジア太平洋大学)にて大学生や留学生と中国語・英語を交えて交流しました。